

### 教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NANZAN Kindergarten



# 5月園だより

〒106-0046  
港区元麻布 3-8-15  
平成30年4月27日

## 【3歳児りんご組】

降園時、楽しい紙芝居を見たり、先生のお話を聞いたりしています。



## 【4歳児ばら組】

友達と一緒に麻布十番商店街に飾るこいのぼりを作りました。



## 【5歳児さくら組】

地域に飾るこいのぼりのほかに、みんなで大きなこいのぼりも作りました。



## 相手を思いやる心

園長 小久保 篤子

入園・進級から約3週間。今年度は入園式の翌日から、5歳児さくら組が、「りんご組タクシー」と称して、3歳児りんご組を保育室まで手をつないで連れて行くという取組を始めてみました。

りんご組の子どもたちは、保護者と離れることは不安そうですが、5歳児と手をつなぐ「タクシー」に乗れば、保育室前までたどり着きます。

4日間続けたところ、5日目以降は「タクシー」がなくても、ほとんどの子が自分から保育室まで行けるようになっていました。

その後、5歳児の「タクシー」はなくなりましたが、りんご組が不安そうにしている姿を見て、4歳児ばら組が迎えにきて連れて行く姿が見られました。そこには、幼児が見て学ぶことができる5歳児のお手本と、「自分も年長組さんのようにタクシーをやりたい」というあこがれの気持ちを察し「迎えに行ったら？」というさりげない教師の一言があったからと考えます。

この取組を通して、5歳児には「5歳児としての自覚」、4歳児には「進級の喜び」、3歳児は「優しくされて嬉しい気持ち」など、教師が願っていたことがしっかり達成できていました。

幼稚園教育において、道徳性の芽生えというのは、相手を思いやる気持ちから生まれます。泣いている様子や困っている様子を見ると「何かしてあげよう」と相手にかかわったり、年下の子には優しくしようとしていたりする光景はよく見られることです。同学年だと互いに主張をして衝突が生まれ、つまずきや葛藤も体験しますが、それを乗り越えると「自分の体験」を通して、相手の気持ちに気付くことができるようになっていきます。

今年度から小学校教育では、「道徳」が「特別の教科 道徳」として扱われるようになりました。幼児期からの体験が重要だと改めて感じています。これからの時期、友達との遊びが活発になってきます。いろいろな友達とかかわる中で「相手を思いやる心」を育てたいと思います。

